

ヒトツボクロ

Tipularia japonica Matsum.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、生育数ともに少ない。

分 布

国内では本州～九州に分布。県内では嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

種の特徴

明るい林内や林縁に生える。偽球茎は狭卵形で2～3個連なる。葉は1枚。卵状楕円形で長さ3～5cm。暗緑色で中脈が白く、裏面は紫色。花茎は細く長さ15～25cm、茎頂には紫色を帯びた黄緑色の小さな花を10数個つける。

生育を脅かす要因

植生遷移による生育環境の悪化。

参考文献 畔上能力ほか (2013)、福井県植物研究会 (1998)、前川文夫 (1971)、大橋広好ほか (2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○				○			○				○

ハクウンラン

Vexillabium nakaianum F.Maek.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、生育数ともきわめて少ない。県内では生育地が一部地域に限られている。

分 布

国内では本州、四国、九州に分布。県内では嶺北の山地に生育している。

種の特徴

夏緑広葉樹林の明るい林床に生育する。高さ5～13cm。葉は卵円形で、長さ3～7mm、茎の下部に数個つける。葉柄があり、基部は茎を抱く。直立した茎の先端に1～4個の白色の花をつける。唇部の裂片はほぼ四角形。

生育を脅かす要因

登山道整備等による生育環境の悪化。

参考文献 前川文夫 (1971)、大橋広好ほか (2015)、若杉孝生 (1977)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ヒオウギ

Iris domestica (L.) Goldblatt et Mabb.
アヤメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

現在自生するものは少なく、長い間園芸採取の対象となってきたため激減した。県内4箇所では標本の記録があるが、最近では採集されておらず、1975年のものが最も新しい。庭や道路の植え込みに栽培されているのを時々見かける。

分 布

本州～琉球に分布。県内では海岸沿いに分布している。

種の特徴

山地の草原に生える多年生草本。葉は長さ30～50cm、幅2～4cm、扇状に出る。花期は8～9月。花は平開し、直径3～4cm、花被は橙色、暗赤色の斑点がある。種子は球形、黒く光沢があり、「ぬばたま」とよばれる。観賞用に栽培される。

生育を脅かす要因

草地開発、土地造成、園芸採取。

参考文献 門田裕一ほか (2013)、福井県植物研究会 (1998)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○	○										○